

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-07-28

明治十六年第三百四十三号

(発行年 / Year)

1910

明治十二年第三百四十三号

明治十七年六月三日申渡

被告取寄一件上告言渡呈

上告人 東京府武川區石島所平氏

河合 崇五兵衛

本代言人 東京府赤羽區末換所七

丁目一五地

大久保 務造

被上告人 神奈川縣武井園町多摩

野原所田村廿五十四五地平氏

武川 定右衛門

本代人 武川定右衛門長男

武川 孝之助

上告ノ要領

第一号

大審院

本被告ノ多田ハ稱ハ管轄ニシテ上告乙第一号
 証ハ被上告者ハ被告トシテ被ケ置キタル者
 ナルヤ將タ此ケ年分ノ地代亦食ト既定シテ
 被上告者ハ取入レタル者ナルヤノ一息ニ在
 リ而シテ被上告者ハ始終管キ取所ニ於テ被
 食ハ五ヶ年分ノ地代亦食トシテ受取リタル
 者ナリト主張シタルに被上告者ノ申立ハ可
 食ニ及ビ否ク不審ノ抗弁ナルヲ以テ上告者
 ハ被告ニシタルヲ無効ト被食ハ乙第一号証
 明文ノ如ク上告者ヨリ被ケ置キテ被告ニシ
 テ被上告者ハ取入レタル地代食ニ非ラサル
 者ヲ主張シタル者ナリ

ノ明文ヨリ地代能ハ已ニ完備ニタルモノ
ニシテ乙卯一号証書ノ能負ニ置候セ又ト云
フモ其受取証書ナキソ如何セシトアレバ且
又是ノ証候ニ述ヒ可定テ誤リタル事當ノ
キ事ト云ハサルヘカウニ其取ハ上考者ヨリ
松又レ可キ地代ト被上考者ヨリ受取ルハキ
家賃トハ乙卯二号証明文及被上考者甲卯一
号証明文ノ如ク互ニ相致ニタル者ナレハ素
ヨリ地代能受取リ候ニキ程ト云候ニ上
考者ハ乙卯二号証書ヨリ地代ノ踐跡ヲ考シ
ルル能分ノ証候トナリ且其場ルモノナレハ
然レ他ニ重被ニテ地代能ヲ取ヒタル証候ニ
テヲ為サルヲ得サルカ如キ責任ヲ有セサル
ナリ然ルニ亦其新カキノ責任ナキ上考者
ニ命テ其地代能ヲ取フタルモノナレハ乙卯
二号証ノ能ニ其受取リ出セ然ラサレハ地代
能ヲ取フタリト云フヲ得マレ云フカ如キ責
任ヲ下タサレタルハ其ノ偏頗不情ノ事案ニ
シテ上考ノ理内トナル所以ノ事ナリ
又亦其文末段ニ由是觀之乙卯二号証書文中
ニ地代能不致相隣候云々トアルハ即チ亦考カ
候事ノ如ク乙卯一号証書ノ能負ニ地代能ニ
充タルヲ以テ其ノ記載ニタル者ト行認セサ
ルヲ得又然ルニ乙卯一号証書ノ能負ハ其取
得タルノ明瞭ナリ依テ被上考ノ請求相互ニ
ト才裁ヤラシタレバ乙卯一号証書ノ能負ハ

大 審 院

地代金に候之ナル者、アラスカ電トシテ預
 け置キタルモノナルトハ予顯說明ノ如ク不
 メ乙种ニ号証申ニ地代金不殊相備候云々ト
 アルハ予但書ニ家賃引届トアリ又ハ被上
 告者甲种一号証中地代ト家賃トノ出入相備
 たりトアル如ク預地代ト家賃トヲお致シタ
 ルモノニシテ乙种一号証預ケ金ニ家賃トキ
 一ハ授取証印文ニ照ラシテ明瞭ナリ然ルニ
 系ノ書所カお掲ノ如ク乙种ニ号証書中地代
 金不殊相備候云々トアルハ予家賃トキ乙种
 一号証書ノ金貨ヲ地代金ト充テタルモノト
 リトシ乙种一号証ノ金貨ハ多分同ナリトキ
 書セウレタルハ不候ノ書書ト云ハサルヘカ
 ラ又之レヲ詳味スレハ果ノ被上告者ノ言ノ
 如ク地代金金トセハ亦一ニ以實書文ノ如ク
 乙种一号証ニ予書記載スヘキ事ナリ亦二ニ
 乙种ニ号証被上告者甲种一号証授取ノ條必
 又乙种一号証ヲ取取カハルヘカラス事ニ取
 取ヌト候ハサレハ予可定ヲ所記ニタル証書
 ヲ取置カサルヘカラス然ルニ雖モ此等ノ年
 限ヲナサズ乙种一号証カ依然上告者ノ手裏
 ニ存在スルハ上告者カ被上告者ニ對シ被務
 ヲ行ヘキ權利アル証授印キ書取取取ヲ取ヌ
 ノ權利アルモノニシテ毫モ可然スル所ナキ
 ナリ是レ上告ノ理由トスル所以ノ事ナリ
 トノ一

大 審 院



大正頃ニ於テ未決スル者ノ如シ

本業ノ専任ハ上告ニ於テ一先取ノ旨負ハ上告者カテ借地ノ取立ニシテ被上告者ノ願ケテタル者ナル年俸タテ借地料トシテ付入レタル者ナル年俸ヲ争フニ在リ

大正頃ヲ未決セシニハ先ツ上告者カテ遂ニ借地料ヲ取ヒタル取立アルヤ否ヲ究スルヲ監察ナリトス

依テ之レヲ按ズルニ上告者カテ昭和十年一月ヨリ今ツケケ年限リ被上告者ノ所有地ヲ借取ケテ借地料ヲ一ケ年四角八十歩ト定メタルノハ上告者ノ承諾スル所ナリ故ニ上告者カテ里ニテ取立ニ借地料ヲ取ヒタルニ於テハ

大審院

是時々ノ取立所ナリ又ヘキ筈ナルニ上告者ハ之ヲ取立解ハカリレナリ然ルニ上告者ニ於テハ之ヲ二先取取立被上告者甲カ一先取ノ如ク借地料ハ已ニ完済シタルモノナレハ亦、之取立所又ヘキ道理ナレトナシレバ亦取立取立依レハ及テ上告者カテ時々取立ニ借地料ヲ取ヒタルニアラサルナリ推知スルニ是レリ何ントナレハ取立ニ上告者カテ取立取立ニ之レヲ取ヒタルナレハ大正二先取取立(昭和十年一月ヨリ取立所者ノ内四角八歩取立取立)云々又甲カ一先取取立(昭和十年二月ヨリ取立所者四角取立)云々ト取立ヨリノ借地料ヲ徳格ニテ記載スヘキ謂

ハレアヲサレハナリ

形ク上告者カ其時々別途ニ借地形ヲ松ヒタ
ル証據ナキニ依テ推究スレハ石上告乙种二
号証及ヒ被上告甲种二号証ヲ以テ其借地形
ノ完備ニ逆ケタルハ即チ被上告者申立ノ如
ク上告乙种一号証ノ全負ヲ以テ其借地形ニ
充テ而シテ不足金額ト被上告者より上告者
ニ及スヘキ金額トノ相殺ヲ為シタルモノト
認ムルノ外ナカルハ正然レハ上告乙种一号
証ノ全負ハ其借地形トシテ算入タルモノナ
ルヲ未定タリ

大 審 院

依テ原告兼所カ右乙种一号証全負ヲ以テ借
地形ニ充テタルモノト認定シタルハ原告ノ
理田ナルモノトス
右ノ原告ナルヲ以テ横濱以重才兼所ハ金子
支店カ申訴ニ及ヘタル終守才兼ハ破産セザ
ル者也

但上告入替ハ上告者ノ理田タルヘシ